学校番号	405

令和５年度　理科

教科	理科	科目	物理	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂 物理」　（第一学習社）						
副教材等	セミナー 物理基礎+物理　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自然界で起こる現象に関心を持ち、その現象がなぜ起こるのかを考察できる力を、物理を通じて身に着けてください。その能力はテストで点を取るためのものではなく、あなたの可能性を大きく広げるためのものです。なお、物理基礎よりもかなり難易度が上がります。

2　学習の到達目標

物理的な事物・現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	物理学的な事物･現象に関心や探究心をもち, 主体的に探究しようとするとともに, 科学的態度を身に付けている。	物理学的な事物･現象の中に問題を見いだし, 探究する過程を通して, 事象を科学的に考察し, 導き出した考えを的確に表現している。	物理学的な事物・現象に関する観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め，知識を身に付けている。
評価方法	学習態度 授業プリント ノート	学習態度 演習問題 授業プリント 定期考査	学習態度 演習問題 授業プリント 定期考査	演習問題 授業プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	運動とエネルギー	平面運動と剛体のつり合い	○	○		○	a:具体的な事象の考察に知識と公式を活用しようとしている。 b:単位からその値の意味を理解し、公式の成り立ちを考察することができる。 c:目的に応じて公式を利用し、現象を数学的に解析し、定量的に把握・評価できる。 d:力学の法則や単位を理解している。	学習態度 演習問題 授業プリント 定期考査
		運動量の保存		○	○	○		
		円運動	○	○	○			
	波動	波の伝わり方	○		○	○	a:身近な波動現象を挙げることができ、それらの現象を理解しようとしている。 b:波動現象について理解し、定量的に考察することができる。 c:音波における定常波、光波の屈折および反射、干渉の作図ができる。 d: 波動現象の特徴・性質を理解し、活用できる。	学習態度 演習問題 授業プリント 定期考査
		音波	○			○		
		光波		○	○			
2学期	電気と磁気	電場と電位	○			○	a:様々な技術について、電場・磁場に関する知識を活用して理解しようとしている。 b:キルヒホッフの法則、アンペールの法則、左手の法則などを用いて、電場と磁場の関係を定量的に考察することができる。 c:アンペールの法則、左手の法則などから電場・磁場の大きさと方向を理解し、ベクトルで表すことができる。 d:電気に関する用語を、言葉の意味だけでなくイメージで理解している。	学習態度 演習問題 授業プリント 定期考査
		電流	○		○			
		電流と磁場		○	○			
		電磁誘導と交流		○		○		
3学期	原子	原子と光	○		○	○	a: 原子力発電、自然放射線などについて自ら調べ、知識を得ようとしている。 b: 放射線の危険性・有用性について自分で考え、メディアなどからの情報を精査し、自分の意見を持つことができる。 c:自らの意見を、化学的な根拠を元に論理的に組み立て、アウトプットできる。 d: 放射性崩壊、放射線の性質について科学的に正しく理解している。	学習態度 演習問題 授業プリント 定期考査
		原子と原子核	○	○	○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。